

平成21年度 大学コンソーシアムやまがた臨時総会議事録

日 時 平成21年12月22日(火) 15:30~16:50
場 所 山形大学事務局第一会議室
出席者 羽陽学園短期大学 : 研 攻一・学長
鶴岡工業高等専門学校 : 横山 正明・校長
東北芸術工科大学 : 松本 哲男・学長、五十嵐 真二・事務局長
東北公益文科大学 : 黒田 昌裕・学長
放送大学山形学習センター : 柴田 洋雄・所長
山形県立産業技術短期大学校 : 平 洋一・副校長
山形県立農業大学校 : 山口 秀雄・校長
山形県立保健医療大学 : 日下部 明・学長、安達 幸世・事務局長
山形県立米沢女子短期大学 : 遠藤 恵子・学長、小笠原 信順・事務局長
山形大学 : (会長)結城 章夫・学長、
 小山 清人・副学長、中島 勇喜・副学長、
 横井 博・教授、前田 裕司・教授、山崎 真二・教授、
 下平 裕之・准教授、出川 真也・准教授、
 鈴木 英一・企画部長、
 津田ひろ子・図書情報企画ユニット係長
山形短期大学 : 内田 英子・学長、那須 一彦・准教授
山形県文化環境部 : 中村 稔・部長、森谷伊都子・学術振興課主査

1 開会

議事に先立ち、議長から、本コンソーシアムの事業は着実に進展している、本日は来年度以降の新たな方向性について審議願いたい旨挨拶があった。次いで議長から、出席者の紹介の後、本日の議事録署名人を、県立保健医療大学の安達事務局長と山形大学の鈴木企画部長にお願いしたい旨提案があり了承された。

2 議事

[報告事項]

事務局から、各部会・委員会等の中間報告について資料1から資料7に基づき報告があった。

[協議事項]

第1号議案 第2期大学コンソーシアムやまがた事業計画(案)について

議長から本件について提案があり、次いで、事業計画策定WGの下平座長及び同WGの横井委員から資料7に基づき委細説明があった。

続いて質疑・意見交換の後、諮られた結果、来年度以降は、本コンソーシアムの顔となるような連携取組に絞って事業を実施し、体制案も含めてさらに幹事会等で検討することとなった。

質疑・意見交換の主な内容は以下のとおり。

- 実施体制がスリムになることは大変結構（米沢女子短期大学）。
- 今回の提案は非常に抽象的。もっとはつきり記載すべき。「学生募集共同事業」を休止するのは時代に逆行しているのではないか。今まで学生募集については山大の一人勝ちのような感じだが、山形の地は魅力ある地であり、コンソーシアム全体としてもっと国内外にアピールすべき。またコンソーシアムは個別の集合体ではだめだ。金はないが知恵はあるのでもっと柔軟に検討すべきだ（東北芸術工科大学）。
- 1期目は山大に“おんぶにだっこ”の状態だった。コンソーシアムというからには山形全体をアピールする必要がある。今までバジェットが少ないこともあるが内向きの活動が中心だったのでないか。学長だけ集まってざくばらんに話す場が欲しい。2期目は何かの事業にターゲットを絞った方がよい。例えば研究者ネットワークをITで作ることもできるのではないか。また県のサポートも必要だ（東北公益文科大学）。
- それぞれの大学の立場が違うので事業を行うのは難しいと思うが、今までやってきたことを総体的に縮小してもダメで、予算も少ないとから何か一つやるとか絞った方がよい。また本日1回で全てのことを決めるのは難しい。具体的なことを検討するには幹事会でもう少し検討すべきではないか（保健医療大学）。
- 5年間経験して、コンソーシアムのような集まりは貴重だと思うが、何もかもやれるわけではない。事業はもう少し絞るべきだ、また状況に応じて緊急アピールを出すなどぱっと動ける組織があっても良い（山形短期大学）。
- コンソーシアムの事業は自己目的化しているのではないか。「山形とは何か？」をトータルで考えるべき。全体として「山形に来れば人間的成长に繋がる」などのキャッチイメージを作る必要があるのではないか（羽陽学園短期大学）。
- 県内の子どもたちの数もますます減ってくる。全県的にもっとピーアールをする必要がある。「地域活動」の休止は再検討願いたい。「コンソの顔」となる事業を絞るのはなかなか難しい（鶴岡工業高等専門学校）。
- 今までのやり方ではどうしても山形大学に目が向いてしまい、反省する必要がある。山形の学ぶ場としての魅力を共同で訴えていくとともに、県外からの学生の呼び込み、県内出身学生を県内に留めることを中心に添えて再検討したい（山形大学）。

[その他]

特になし

3 閉会

以上をもって閉会した。

配付資料

- 資料No.なし 大学コンソーシアムやまがた役員名簿
〃 大学コンソーシアムやまがた総会出席者名簿
〃 大学コンソーシアムやまがた総会(6/22)議事録
資料1 大学コンソーシアムやまがた総務運営委員会活動中間報告
資料2 大学コンソーシアムやまがた教育連携部会活動中間報告
資料3 大学コンソーシアムやまがた地域活動部会活動中間報告
資料4 大学コンソーシアムやまがた学術情報部会活動中間報告
資料5 大学コンソーシアムやまがた最上川学プロジェクト推進委員会
活動中間報告
資料6-1 事業評価委員会・事業計画策定WG活動中間報告
資料6-2 「大学コンソーシアムやまがた」の事業評価報告書
資料7-1 第2期大学コンソーシアムやまがた事業計画(案)の概要
資料7-2 第2期大学コンソーシアムやまがた事業計画(案)
資料7-3 東北地方の大学コンソーシアムとの連携可能性について
資料7-4 将来計画の策定プロセス

議事録署名人

山形大学長

結城 章夫



県立保健医療大学事務局長

安達 幸世



山形大学企画部長

鈴木 真一

